

第2次豊橋市民協働推進計画の着実な推進に向けて（提言）

豊橋市市民協働推進審議会 平成29年3月22日提出

豊橋市では、市民協働推進条例を定め、市民及び市が互いの役割を理解し、対等な立場で、自主性・自立性をもって活動し、協力してまちづくりに取り組むこととしています。その取組みを計画的かつ効果的に推進するための行動計画である「第2次豊橋市市民協働推進計画」の具体的な取組みとして次のとおり提言します。

（1）若者・青年層の活動が活発になるための支援

若者や青年層がまちづくりに関わることは、次世代の人材育成や意識醸成につながるものと考えます。

次世代の人材育成や意識醸成のため、学業、仕事など多忙な若者や青年層がまちづくりに関わるための環境づくりとして

- ① 気軽に活動を始めることができる手続き等を簡略化した「若者向け補助制度」の創設
- ② まちづくりの必要性や課題を伝えるための「高校・大学連携による講座」などの開催

（2）地域課題を洗い出す取組みの推進

住みよいまちや地域となっていくためには、市民、行政などの各主体がお互いの強みや弱みを理解し、同じ目的をもって課題に取り組むことが効果的であると考えます。

住みよいまちを目指し、市民、団体、行政など各主体がお互いの強みや弱みを理解し、同じ目的をもって、課題に取り組むことができる環境づくりとして

- ① 参考となる「先進的な取組みを知る機会」の提供
- ② 地域課題を洗い出し、解決に取り組むモデル校区・町の設置

（3）市民協働の理解の促進

市民協働が定着していくためには、市民がその言葉の意味をしっかりと理解することが必要であると考えます。

市民が市民協働という言葉の意味をしっかりと理解し、積極的にまちづくり活動に関わるための取組みとして

- ① 小・中学生から大学生、また、地域や市民活動団体など活動ステージに応じた協働の手引きの作成
- ② 分野別・対象別の事例紹介などを用いた分かりやすい講座・体験活動の実施

豊橋市市民協働推進審議会名簿

(五十音順、敬称略)

NO	役職	氏名	備考
1	会長	イワサキ マサヤ 岩崎 正弥	学識経験者 (愛知大学地域政策学部教授)
2	副会長	オオタニ ヨリコ 大谷 代里子	豊橋市自治連合会から推薦
3	委員	アサクラ ミツエ 朝倉 三恵	市民センター指定管理者から推薦
3	〃	オオバ ヒロミ 大場 博文	豊橋市社会福祉協議会から推薦
4	〃	オノダ トシオ 小野田 敏夫	公募
5	〃	サカモト 阪本 いづみ	公募
6	〃	スズキ ミエ 鈴木 美江	豊橋商工会議所から推薦
8	〃	ナガイ レナ 永井 伶奈	国際交流協会から推薦